

令和5年度事業報告

I. 公益目的事業

ア. 研究交流、研究環境活性化事業

1. 外国人研究者生活立ち上げ等支援業務

1) ((国研)物質・材料研究機構から受託)

物質・材料研究機構の外国人研究者に対する生活立ち上げ支援等を行った。支援を行った外国人研究者は179名、支援件数1,226件であった。

2) ((国研)国立環境研究所から受託)

国立環境研究所の外国人研究者に対する生活立ち上げ支援等を行った。支援した外国人研究者は12名、支援件数61件であった。

3) (国立大学法人筑波大学から受託)

筑波大学国際統合睡眠医科学研究機構の外国人研究者等に対する生活立ち上げ支援等を行った。支援した外国人研究者は1名、支援件数2件であった。

4) (大学共同利用機関法人 高エネルギー加速器研究機構から受託)

高エネルギー加速器研究機構の外国人研究者等に対する生活立ち上げ支援等を行った。支援した外国人研究者は50名、支援件数274件であった。

5) (オートリブ株式会社から受託)

オートリブ(株)の外国人社員に対する生活立ち上げ支援等を行った。支援した外国人研究者は10名、支援件数13件であった。

6) 外国人研究者等総合保険制度創設

(自主事業)

我が国に在留する(短期滞在を含む)外国人研究者の傷害、疾病、事故等のリスクに備え、我が国での研究生活をサポートする保険制度を提供した。令和5年度の新規利用申請は25件。既承認機関の147名に対して保険を付与した。なお、現時点での組織単位を含めた承認数は95である。

2. 外国人研究者交流・生活確保事業

1) 外国人研究者宿舎生活サポート事業

((国研)科学技術振興機構から受託)

筑波研究学園都市の研究開発法人等で研究に従事する外国人研究者及びその家族のための宿舎であるJST二の宮ハウスにおいて居住者の支援をした。

外国人研究者が来日当初から日本で円滑に生活し、研究活動に専念できる環境を提供する業務を推進した。

利用者数：

二の宮ハウス：296件（40ヶ国）

2) 外国人宿舎管理運営事業

（(国研)科学技術振興機構から受託）

筑波研究学園都市の研究開発法人等で研究に従事する外国人研究者及びその家族のための宿舎である JST 二の宮ハウスの良好な管理運営を実施した。

3) 宿舎関連業務

（(国研)科学技術振興機構から受託）

- ・令和5年4月及び5月の二の宮ハウス退去時清掃業務を行った。
- ・令和5年6月以降の二の宮ハウス退去時清掃調整業務を行った。
- ・竹園ハウスの巡回警備業務及び鍵の管理業務を行った。

3. 科学技術関係者国際交流プログラム支援事業

1) 「さくらサイエンスクラブ（SSC）」の運営事務局業務

（(国研)科学技術振興機構請負業務）

「さくらサイエンスプログラム」参加者のネットワーク形成を目的とし設置された「さくらサイエンスクラブ」の事務局業務（現地（ベトナム・マレーシア、ネパール、台湾、インド）同窓会およびハイブリッド同窓会（日本）などの開催、名簿作成、ホームページによる情報提供、掲示板内の質問及び問合せメールの返信業務、メールマガジン配信、マイページ内の情報収集、アンケートの集計等）を行った。

2) 中国訪問プログラム支援事業

（中国大使館請負業務）

中国訪問者の選定、ビザ申請の支援業務、訪中スケジュールの作成、訪問先機関との調整、国際航空券の手配、中国現地宿泊、交通移動などの手配、現地通訳、引率随行、調整業務及び報告書の作成を行った。

3) 中国地方科学技術庁訪日支援事業

（中国湖北省科学技術国際交流センター請負業務）

訪日者のビザ申請支援業務、日本の訪問先との調整、通訳支援業務を行った。

4) 日本・アジア青少年サイエンス交流事業（さくらサイエンスプラン） 関係業務

① 科学技術体験コースの実施

（(国研)科学技術振興機構との実施協定）

「さくらサイエンスプログラム」科学技術体験コースの採択を受け、下記のとおり招へいた。(1件)
第3回公募・令和6年3月3日～9日(7日間)中国・若手研究者、8名

イ. 情報収集、調査研究事業

1. JISTEC Report 等の発行

当センターの活動等を広く一般に公開するため、「JISTEC Report」Vol.93を日英併記版として発行した。

2. 中国語ポータルサイトに係るコンテンツの作製、更新等の業務

(国研)科学技術振興機構請負業務)

(国研)科学技術振興機構 アジア・太平洋総合研究センターのWEBサイト「客観日本」(中国語HP)に関する記事作成及び中国語翻訳作業を行った。

3. 「日中ハイレベル研究者オンラインセミナー」の開催

(国研)科学技術振興機構請負業務)

「日中ハイレベル研究者オンラインセミナー」の開催にあたり、オンライン会場の設定、講師の調整業務などを行った。

4. 「ハイレベル研究者訪日サポート業務」

(国研)科学技術振興機構請負業務)

訪日者の宿泊、移動車両、研究会会場の手配及び研究会の開催に関する支援業務を行った。

5. 「アジア大学フォーラム」の開催

(国研)科学技術振興機構請負業務)

日本・中国・ASEAN間の今後の人材育成と大学連携の促進のためにそれぞれの大学の学長・副学長級会議を中国(香港)で開催するにあたり、運営支援業務などを行った。

6. 「ASPIRE 通信分野および半導体分野 2023 年度採択課題のキックオフミーティングおよびネットワーキング」開催に係る関連業務

(国研)科学技術振興機構請負業務)

広島大学において開催された会議において、ハイブリッド環境の設定および配信、参加者の名札の作成、ネットワーキングの手配を行った。

II. その他事業

1. 講演会の開催

(自主事業)

社会的に関心の高いテーマを選定して行う「科学技術・文化交流サロン」の講演会については、令和5年10月25日にJISTEC創立30周年事業の一つとして位置づけ第26回CSTサロンを学士会館にて開催した。

2. 科学技術関係者の研修会の開催

(自主事業)

(本年度は事業の執行がなかった。)

3. ホームページによる情報の提供

(自主事業)

ホームページにより、外国人研究者の日本受入れ促進に資する情報、日本滞在における生活支援情報及び外国人宿舎情報等を提供した。

4. JISTEC 30周年記念事業

(自主事業)

令和2年11月に創立30周年を迎えた後、延期になっていた記念事業として、日本及び海外の教育と科学技術の現況調査を行った結果を刊行物としてとりまとめ、令和5年12月20日に出版した。

5. 科学技術団体連合の運営事務局業務

(受託事業)

会員相互の連携の下、科学技術振興の活性化に関する諸事業を協力して実施し、もってわが国における科学技術の振興及び普及啓発の推進に寄与することを目的とする団体の企画・運営を行った。

6. 牧友会の運営事務局業務

(受託事業)

会員相互の親睦を深め、あわせて科学技術行政の充実に資することを目的とし、会員は国家公務員として科学技術行政に携わった者で前記目的の趣旨に賛同した者で構成する団体の企画・運営を行った。

7. 科学技術議員等国際交流基金運営事業

(本年度は事業の執行がなかった。)

8. 芦田基金運営事業

芦田基金の趣旨に沿って、優秀な女性研究者の顕彰（輝く女性研究者賞（JST主催））に関して必要な助成事業を行った。